

舞鶴赤れんがハーフマラソンについて

- 2013年、市制施行70周年記念事業として大会を創設
- スポーツの普及振興に加え、市民が一体となって大会を運営することにより市民の絆の強化を目指すとともに、全国から集う参加者に赤れんがパークや海軍ゆかりの港、豊かな自然など舞鶴市の魅力に触れていただくことなどを通して、まちの活性化につなげることを目的に開催
- コロナ禍の影響により2020年は中止、2021年はオンラインマラソンとして開催。2022年はリアルマラソンとして3年ぶりに開催
- 2023年は、市制施行80周年記念事業として、ゲストラナーの招待、飲食ブースの出店再開など、より一層充実した形で開催



2023大会の概要について

- 日時 令和5年10月9日（月・祝）
【ハーフ】 9:30スタート
【2km】 9:49スタート
- 会場 舞鶴赤れんがパーク
- コース 舞鶴赤れんがハーフマラソンコース（日本陸連公認）
- 主催 舞鶴市、（一財）京都陸上競技協会
- 共催 （一財）舞鶴市スポーツ協会、
海上自衛隊舞鶴地方隊、海上自衛隊第21航空群
- 主管 舞鶴赤れんがハーフマラソン実行委員会、舞鶴市陸上競技協会
- 参加定員 【ハーフ】 2,600人 【2km】 400人
- 募集期間 6月12日（月）～8月18日（金）



2023大会の概要について



【ゲストランナー】 千葉真子さん



■プロフィール

1976年生まれ、京都府宇治市出身。

立命館宇治高校から旭化成に入社。1996年アトランタ五輪1万メートルで5位入賞、1997年アテネ世界選手権1万メートルで日本女子トラック長距離種目初となる銅メダルを獲得するなど、日本女子長距離界のトップ選手として国際舞台で活躍。マラソン転向後はけがに苦渋し、新天地での再挑戦を決断。小出義雄氏に師事した。2度目の世界選手権はマラソンに出場し、銅メダルを獲得。世界で初めて世界選手権のトラック、マラソン両種目でメダルを手にした。

第一線を退いた後は、ゲストランナーとして全国のマラソン大会に出演するほか、「千葉真子BEST SMILE ランニングクラブ」を立ち上げ、市民ランナーの指導や普及活動も積極的に行っている。

■ゲストランナーの予定

- ・ スタートセレモニーへの参加、あいさつ
- ・ 参加ランナーと共にコースをランニング（2kmの部）
- ・ 参加ランナーの応援
- ・ 表彰式への参加 など

舞鶴赤れんがハーフマラソンの魅力・特徴

- 赤れんが倉庫群に加え、海上自衛隊の全面協力により、護衛艦や哨戒ヘリコプターを間近に見ながら走ることができる美しく迫力あるコースは、全国唯一のユニークなコース
- ボランティアによるおもてなしなどと共にランナーの人気を呼び、コロナ禍以前は毎回参加定員に達し、2022大会はコロナ禍にも関わらず定員の7割もの参加者があるなど、人気大会として定着



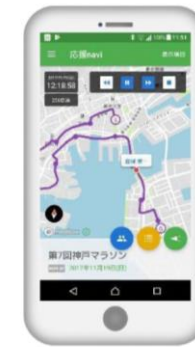
年月日	大会内容	申込者数
平成25年10月20日	舞鶴赤れんがハーフマラソン開催 ※市制施行70周年記念事業として初開催	2,466人
平成26年10月13日	舞鶴赤れんがハーフマラソン2014開催 ※定員増加(2,500人⇒2,600人)	2,589人
平成27年10月12日	舞鶴赤れんがハーフマラソン2015開催	2,631人
平成28年10月10日	舞鶴赤れんがハーフマラソン2016開催	2,642人
平成29年10月9日	舞鶴赤れんがハーフマラソン2017開催	2,696人
平成30年10月8日	舞鶴赤れんがハーフマラソン2018開催	2,622人
令和元年10月14日	舞鶴赤れんがハーフマラソン2019開催 ※定員増加(2,600人⇒3,000人)	2,996人
令和2年度	コロナ禍の影響により中止	
令和3年10月10日～23日	舞鶴赤れんがハーフマラソン2021オンライン開催	1,236人
令和4年10月9日	舞鶴赤れんがハーフマラソン2022開催	2,092人



舞鶴赤れんがハーフマラソンの魅力・特徴

■HMCC（ハーフマラソンチャレンジカップ）の参加大会

- ・（一財）アールビーズスポーツ財団が主催する、エリート層の強化、市民ランナーの拡大、大会の活性化などを目的とするプロジェクト（日本陸連公認大会のうち、条件を満たす大会が参加）
 - ・ランナーが当日にWEB記録証をダウンロード可能
 - ・自己ベスト達成者、一定の記録達成者へ特別完走記録証を授与（ダウンロード）
 - ・ランナー向けのITサービスを利用可能
- 【例】応援ナビ 走行中の選手の位置情報や通過タイム・順位を確認できるスマホアプリ
- ・大会新記録更新者への賞金贈呈（5万円～20万円）



応援ナビ



WEB記録証

■東京マラソン提携大会

- ・東京マラソンが全国のロードレースと連携し、マラソンムーブメントの全国的な盛り上げに資する取組として実施
- ・本大会完走者の中から抽選で3名に、大人気大会である東京マラソン出走権を贈呈（東京マラソン2020の倍率＝約11倍）



初ハーフマラソン完走



男子サブ80分達成



女子サブ90分達成



自己ベスト記録達成



年間自己ベスト記録達成

3 舞鶴赤れんがハーフマラソン2023の開催について

問い合わせ先

事業名	担当課	担当者	電話番号	FAX番号	メールアドレス
舞鶴赤れんがハーフマラソン2023の開催について	スポーツ振興課	有田、小谷	66-1058	62-9891	suposin@city.maizuru.lg.jp